

II 油糧種子

1 大豆

(1) 国際的な需給の概要（詳細は右表を参照）

< 米国農務省（USDA）の見通し >

2018/19 年度

生産量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・前月に比べ、ブラジルでの単収上昇により上方修正された。

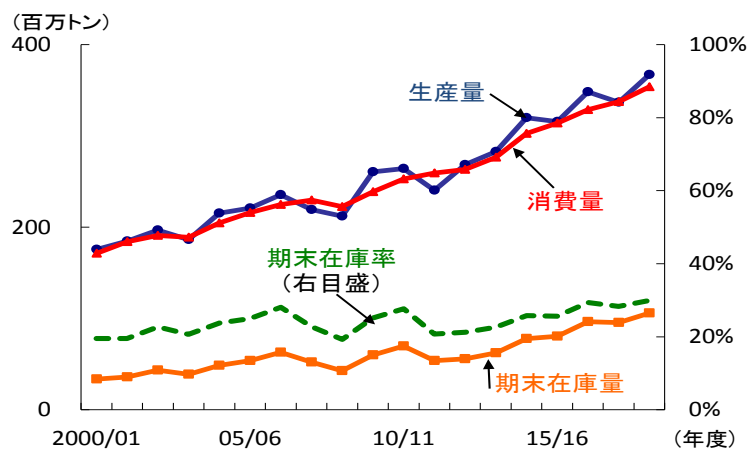
消費量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

・前月に比べ、中国、アルゼンチンの搾油需要低下により下方修正された。

輸出量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・前月に比べ、アメリカの中国以外向けの輸出量の増加見込みにより上方修正された。

期末在庫量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

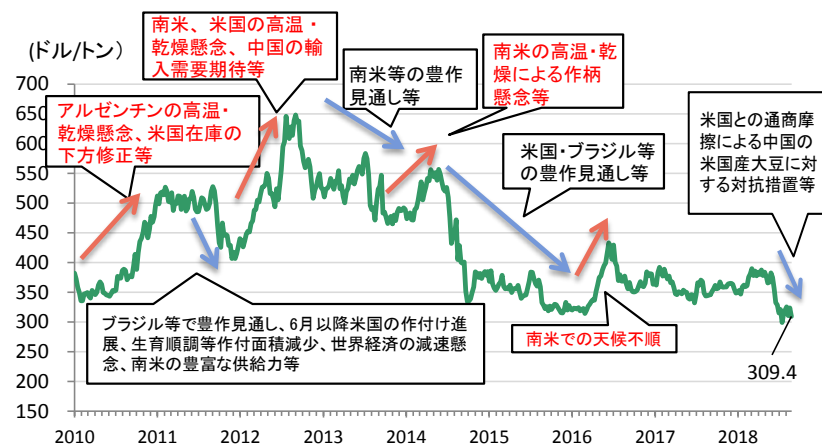


資料：USDA「PS&D」（2018.8.20）をもとに農林水産省で作成。

(単位: 百万トン)

年度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値	前月予測から の変更	対前年度 増減率(%)
生産量	348.1	336.7	367.1	7.6	9.0
消費量	328.9	337.5	353.6	▲ 0.7	4.8
うち搾油用	287.4	294.4	308.7	▲ 0.6	4.9
輸出量	147.4	153.7	158.0	0.6	2.8
期末在庫量	96.7	95.6	105.9	7.7	10.8
期末在庫率	29.4%	28.3%	30.0%	2.2	1.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」（10 August 2018）



注：シカゴ商品取引所による 2018 年 8 月 24 日までの毎週金曜日の期近価格である。

(2) 国別の大豆の需給動向

< 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省（USDA）によると、8月20日時点における着莢は、91%で平年を上回っている。USDAの8月現地調査により、単収予測が上方修正され、生産量が124.8百万トンと史上最高の見込みである。

【需給状況】畜産における大豆粕需要の高まりを反映して、消費量は前月から上方修正された。

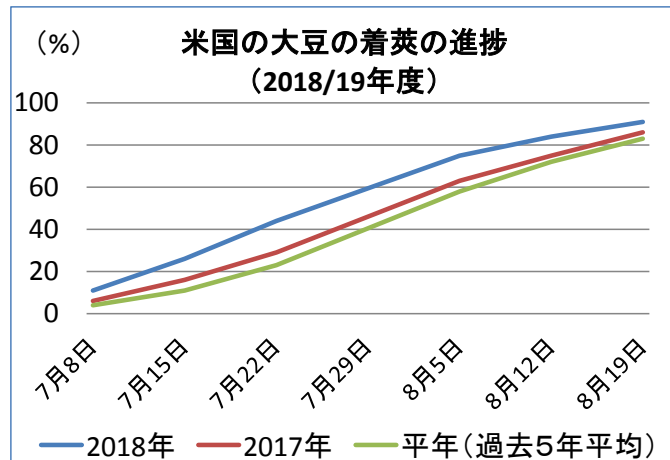
【貿易情報・その他】輸出量は、前年度より少ないものの、他国産と比べて有利な輸出価格により、前月より上方修正された。オイルワールド誌によると、中国を除くアジア及び、EU、エジプト、メキシコ向けの輸出が堅調である。

大豆－米国

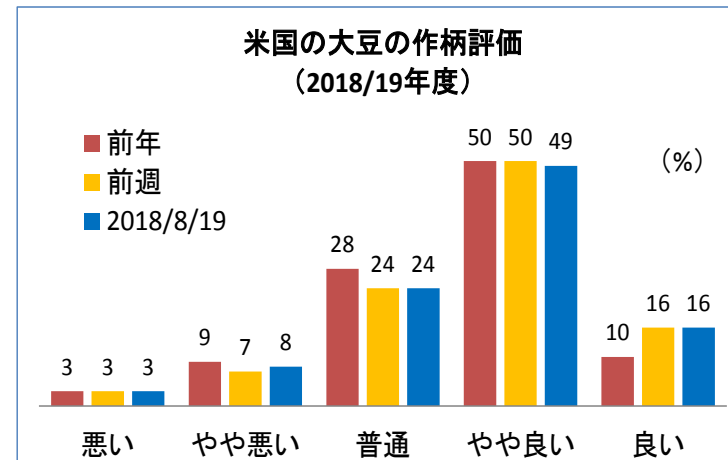
(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	116.9	119.5	124.8	7.5	4.4
消費量	55.7	59.2	59.8	0.4	0.9
うち搾油用	51.7	55.5	56.1	0.4	1.0
輸 出 量	59.0	57.4	56.1	0.5	▲ 2.4
輸 入 量	0.6	0.6	0.7	-	13.3
期末在庫量	8.2	11.7	21.4	5.6	82.6
期末在庫率	7.2%	10.0%	18.4%	4.7%	8.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	33.47	36.23	35.96	-	▲ 0.7
単収(t/ha)	3.49	3.30	3.47	0.21	5.2

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 August 2018)



資料：USDA「Crop progress」(2018.08.20)



資料：USDA「Crop progress」(2018.08.20)

< ブラジル >

【生育・生産状況】2017/18年度については、ブラジル食料供給公社（CONAB）によると、生産量は、118.98百万トンの見込み。単収予測は、前年度を上回り、8月時点で3.39トン/ヘクタールと報告されており、過去最高の数値となっている。

2018/19年度については、9月に作付けが開始されるが、米国農務省（USDA）によると、中国の米国産大豆への課税措置を受け、ブラジル産大豆の需要が高まり、農家の作付け意欲が増すと予測されるため、更なる増産が見込まれる。

【貿易情報・その他】3月以降、中国の旺盛な需要に下支えされ輸出量は増加しており、7月の輸出量は、前年同期より40%増加している。大豆輸出が増えると、国内の搾油用に回る大豆が減少するが、搾油用には、近隣諸国からの輸入を増やして対応している。

ブラジル大豆の主な輸出先

		単位：千トン				
1月	合計	中国	オランダ	ロシア	イラン	スペイン
	1,564	1,342	65	60	59	27
2月	合計	中国	スペイン	オランダ	英国	ロシア
	2,864	2,144	305	102	100	61
3月	合計	中国	スペイン	イラン	トルコ	オランダ
	8,814	6,938	274	195	173	164
4月	合計	中国	パキスタン	ポルトガル	スペイン	オランダ
	10,259	7,526	306	245	237	224
5月	合計	中国	スペイン	イラン	トルコ	タイ
	12,354	9,763	407	309	274	207
6月	合計	中国	イラン	スペイン	トルコ	日本
	10,420	8,232	351	263	233	192
7月	合計	中国	トルコ	スペイン	ロシア	タイ
	10,196	7,971	275	259	223	208

資料：ブラジル商工サービス省

大豆—ブラジル

(単位:百万トン)

年度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値、()はOil.W	前月予測からの変更	対前年度増減率(%)
生産量	114.6	119.5	120.5 (119.0)	-	0.8
消費量	43.8	46.5	46.3 (…)	-	▲ 0.6
うち搾油用	40.4	43.0	42.7 (43.7)	-	▲ 0.7
輸出量	63.1	75.5	75.0 (73.7)	-	▲ 0.7
輸入量	0.3	0.2	0.4 (…)	-	87.0
期末在庫量	26.5	24.2	23.8 (30.2)	▲ 0.8	▲ 1.4
期末在庫率	24.7%	19.8%	19.6%	▲ 0.7	▲ 0.2
(参考)					
収穫面積(百万ha)	33.90	35.10	37.50 (36.35)	-	6.8
単収(t/ha)	3.38	3.40	3.21 (3.27)	-	▲ 5.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」(10 August 2018)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(6 July 2018)

ブラジルのクロープカレンダー (2017/18年度) (中部から南部)

2017/18年度	2017年												2018年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
夏とうもろこし	[マトグロソ州等] 播種 5.07 (百万ha)												収穫 26.8 (百万t) → 生産量 夏冬計 82.18								
冬とうもろこし	← 播種面積夏冬計 16.64												播種 11.57 → 収穫 55.4								
大豆	[マトグロソ州、パラナ州等] 播種 35.15												↑ 早熟種大豆収穫後冬とうもろこし播種 → 収穫 119.0								

資料：CONAB 2018年8月

< カナダ >

【生育・生産状況】カナダ農務農産食品省（AAFC）によると、小麦と比べて収益性が低いこと、西部で乾燥が広がっていること、国際価格が下落傾向であること等により、2018/19年度の作付面積は、前年度比13%減の2.56百万ヘクタールの見込み。

【需要状況】USDAによると、消費量は、前月と変わらず。

【貿易情報・その他】AAFCによると、輸出量は輸出先が多様化していることから、近年、増加傾向にあり、5.3百万トンの見込みである。

(参考) カナダのなたね

AAFCの報告によると、2018/19年度のなたねの作付面積は、前年度と比較して0.1百万ヘクタール減少の9.2百万ヘクタールの見込み。収穫量は、史上最高となった前年度21.3百万トンに比べて減少するが、20.3百万トンの見込みで史上2番目である。輸出量は、世界的な需要が堅調であり、国内生産も順調であることから、前年度より6%増加の11.5百万トンの見込み。

< アルゼンチン >

【生育・生産状況】ブエノスアイレス穀物取引所によると、今年2月の干ばつの影響で、2017/18年度産は、大幅減産となり、36百万トンの見込み。

【需要状況】米国農務省（USDA）によると、2017/18年度は、消費量（42.5百万トン）は生産量（37百万トン）を上回る見込みであり、輸入量は前年度より増加する見込み。

【貿易情報・その他】アルゼンチンでは、年間65百万トンの搾油能力を有しており、通常40百万トンから50百万トンの搾油量がある。今期は収量が少ないことから、国産ではまかなえず、輸入を行っている。

大豆－カナダ

(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	6.6	8.0	7.3 (7.1)	-	▲ 8.8
消費量	2.5	2.6	2.6 (2.4)	-	-
うち搾油用	2.0	2.0	2.0 (…)	-	-
輸 出 量	4.6	5.5	5.5 (5.3)	-	-
輸 入 量	0.5	0.5	0.6 (0.4)	-	20.8
期末在庫量	0.3	0.6	0.4 (0.8)	-	▲ 38.8
期末在庫率	3.9%	7.8%	4.8% (10.4%)	-	▲ 3.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.23	2.90	2.55 (2.54)	-	▲ 12.1
単収(t/ha)	2.96	2.76	2.86 (2.79)	-	3.6

資料: USDA 「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、 「PS&D」 (10 August 2018)
AAFC 「Outlook for Principal Field Crops」 (17 August 2018)

大豆－アルゼンチン

(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	55.0	37.0	57.0 (53.0)	-	54.1
消費量	47.8	42.5	47.9 (…)	▲ 0.0	12.8
うち搾油用	43.3	37.8	43.0 (…)	-	13.8
輸 出 量	7.0	3.1	8.0 (…)	-	158.1
輸 入 量	1.7	3.9	2.2 (…)	▲ 0.0	▲ 43.1
期末在庫量	35.5	30.8	34.1 (28.0)	1.5	10.7
期末在庫率	64.7%	67.6%	61.0% (…)	0.03	▲ 6.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	17.40	16.80	19.00 (17.80)	-	13.1
単収(t/ha)	3.16	2.20	3.00 (2.98)	-	36.4

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」
「World Agricultural Production」 (10 August 2018)
OIL WORLD 「OIL WORLD Monthly」 (6 July 2018)

< 中国 >

【生産・生育状況】主産地の東北地方では、8月に入り、開花・着莢期を迎えている。米国農務省（USDA）によると、生産量は前月と変わらず14.5百万トンの見込み。

【需要状況】USDAによると、消費量は搾油ペースの落ち込みから、前月から1.5百万トン下方修正され、112.1百万トンの見込み。

【貿易情報・その他】USDAによると、前月と変わらず輸入量は95.0百万トンの見通し。一方、報道によると、中国政府は、国内生産強化や大豆以外の油糧種子への代替により、海外からの大豆輸入量を減らそうとしていることから、今後の輸入動向について、注視が必要である。

大豆－中国

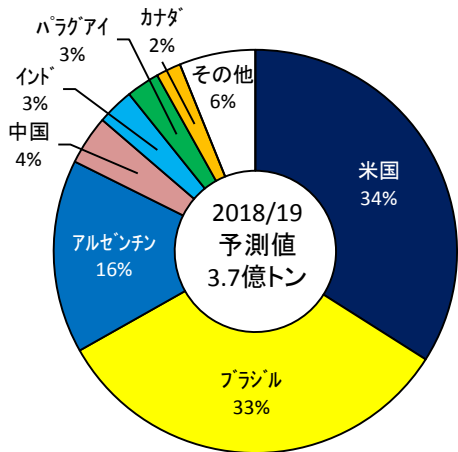
(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	12.9	14.2	14.5 (14.3)	-	2.1
消費量	102.8	107.0	112.1 (…)	▲ 1.5	4.8
うち搾油用	88.0	91.0	95.0 (…)	▲ 1.5	4.4
輸 出 量	0.1	0.1	0.1 (…)	▲ 0.1	▲ 9.1
輸 入 量	93.5	96.0	95.0 (…)	-	▲ 1.0
期末在庫量	20.4	23.5	20.8 (…)	1.6	▲ 11.5
期末在庫率	19.8%	21.9%	18.5% (…)	1.7	▲ 3.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.20	7.85	8.10 (7.30)	-	3.2
単収(t/ha)	1.79	1.81	1.79 (1.96)	-	▲ 1.1

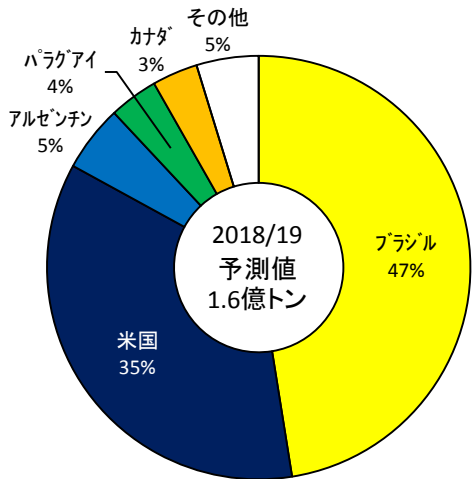
資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(10 August 2018)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(6 July 2018)

資料 世界の大豆生産量と輸出量/日本の輸入量(2018年8月現在)

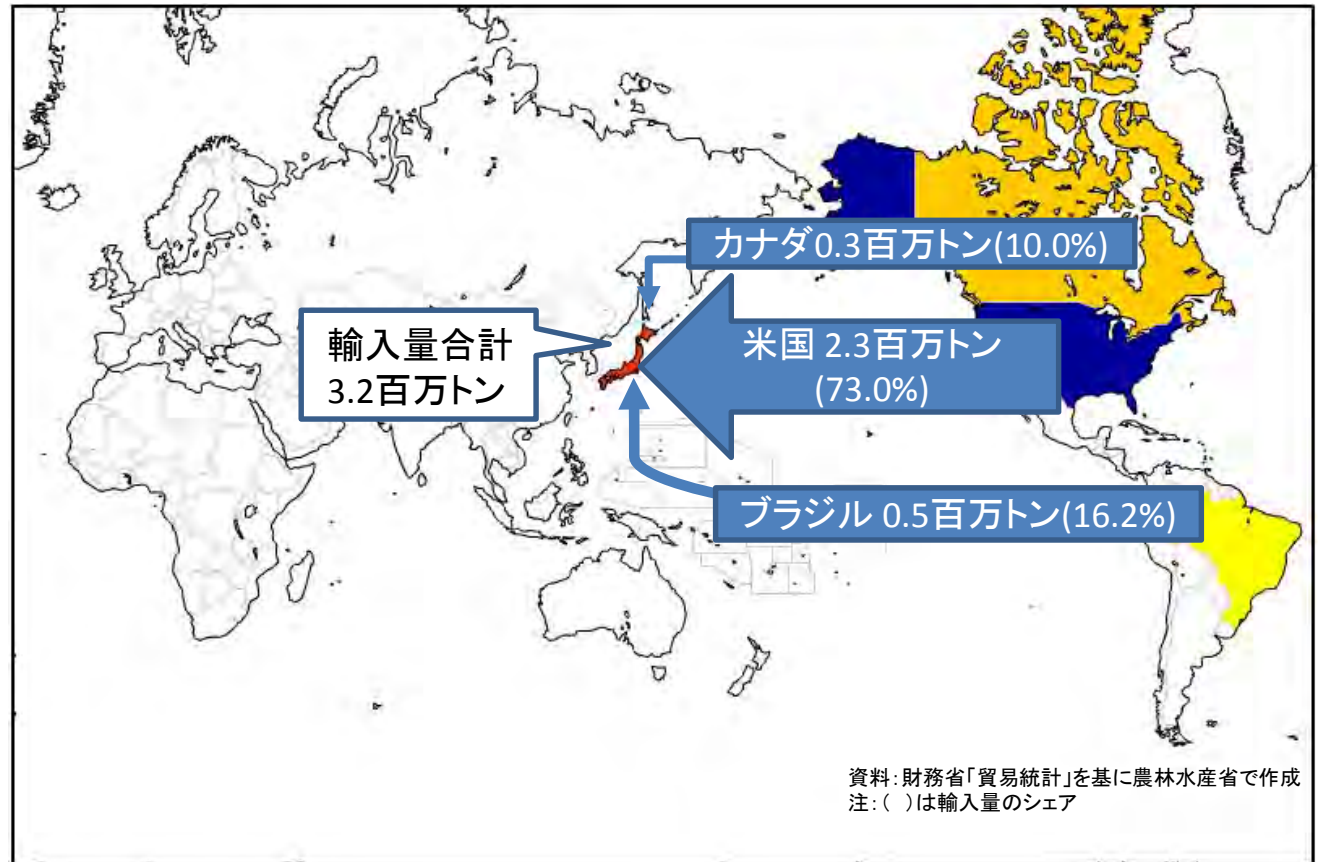
世界の大豆生産量



世界の大豆輸出量

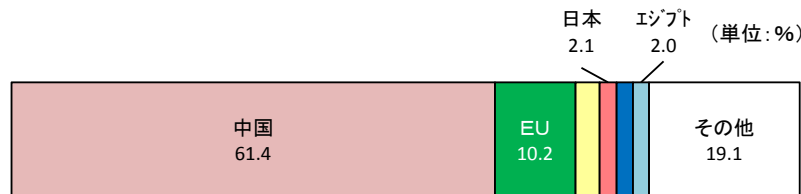


日本の国別大豆輸入量(2017年)



<参考>世界の大豆輸入国(2018/19)

—世界の6割以上を中国が輸入—



日本の大豆生産量
 2015年:0.24百万トン
 2016年:0.24百万トン
 2017年:0.25百万トン
 (資料:農林水産統計)

【利用上の注意】

海外食料需給レポートは、在外公館からの情報、農林水産省が独自に各国の現地コンサルタント等を通じて入手した情報、公的機関（各国政府機関、FAO、IGC等）の公表資料、Oil World等民間の調査会社から購入した資料、その他、商社情報や新聞情報等から入手した情報を農林水産省の担当者において検証、整理、分析したものです。

- **海外食料需給レポートで使用している統計数値は、主に米国農務省が2018年8月下旬までに発表した情報を引用しています。**

さらに詳細なデータ等が必要な場合は、米国農務省のホームページを参照願います。

http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?navid=AGENCY_REPORTS

主な参考資料

「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

<http://www.usda.gov/oce/commodity/wasde/>

「Grain : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/grain-world-markets-and-trade>

「Oilseeds : World Markets and Trade」

<https://www.fas.usda.gov/data/oilseeds-world-markets-and-trade>

「World Agricultural Production」

<https://www.fas.usda.gov/data/world-agricultural-production>

「PS&D」

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/advQuery>

など

- **データは予測値であり、毎月各種データの更新を受けて改訂されますので留意してください。**
- 資料原典で表示されるブッシェル及びエーカー等の単位は、それぞれトン及びヘクタールに換算して記載しています。
- 資料原典において現地通貨で表示される金額を円換算するにあたっては、日本銀行国際局・財務大臣公示の基準外国為替相場及び裁定外国為替相場等の換算レートを用いています。
- 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。
なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads>

(注：同サイトの「Reference Data」を参照)

- 期末在庫率の対前年度増減率の欄は、前年度とのポイント差。なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合があります。
- 本資料の引用等につきましては、出所（農林水産省発行「海外食料需給レポート」）を併記願います。
- 本文中の略称については以下の通りです。

FAO	国連食糧農業機関
IGC	国際穀物理事会
USDA	米国農務省
AAFC	カナダ農務農産食品省
ABARES	豪州農業資源経済科学局
CONAB	ブラジル食料供給公社
JAXA	宇宙航空研究開発機構
ASF	アフリカ豚コレラ

なお、生産見通し等の予測は、各国際機関及び各国の農業機関によりそれぞれの分析手法に基づき行われるため、機関によってデータの相違がある場合があります。また、各国の農業機関の公表を受けて、国際機関の見通しが改訂される場合があります。

- 本レポートの電子版は下記アドレスでご覧になれます。

農林水産省 海外食料需給レポート

http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_rep/index.html

- 本資料に関するご質問、ご意見等は、下記までお願いします。

連絡先 農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室 TEL：03-3502-8111 (内線 3805)
--